

学校教育目標	生きる力を育てる気賀小教育の実現
--------	------------------

子供と教師が 目指す子供像	地域に信頼される学校づくり 1 日本一の挨拶がこだまする学校 2 厳しいけれど楽しい学校 3 理想を高く掲げる学校	めざす子供像	思いやる子 ○「ひと・もの・こと」とよりよく関わる子 学び合う子 ○思いや考えを聴き、伝える子 たくましい子 ○最後までやり抜く子
------------------	--	--------	--

めざす子供像を実現するための 今年度の経営の重点	1 「確かな学力」の定着 ○授業研究会の継続 ○ICTの活用 2 一人一人が居場所とやりがいのある集団づくり ○学校経営研修の取り組みを学年・学級経営に生かす ○縦割り班活動の充実 3 気持ちのよい環境づくり ○教室の環境整備 ○言語活動の整備 ○持続可能な栽培活動 4 子供の命を守る危機管理 ○危機管理対応マニュアルの共通理解 ○アレルギー対応 5 職員の使命感と倫理意識の高揚 ○「気賀小らしさ」を大切に ○チーム型の組織 ○信用失墜行為の根絶 ○働き方改革に対する意識
-----------------------------	--

【キャリア教育の全体目標】他者との関わりを通して、自分のよさや友達のよさに気づき、夢や目標に向かって努力することができる。			
〈育成すべき基礎的・汎用的能力〉			
かかわる力 友達・教師・地域の方々とかか わる	みつめる力 自分のよさを知り、自分を磨 く	のりこえる力 目標に向かって、工夫して取 り組む	つなげる力 未来・社会とつなげる

児童評価 A…85%以上 B…70%以上 C…50%以上 D…35%以上					
評価項目	そう思う、 だいたい そう思う	自己 評価	評価項目	そう思う、 だいたい そう思う	自己 評価
楽しく充実した学校生活を過ごしている。	89%	A	「早寝・早起き、朝ご飯、朝うんち」を心掛けている。	77%	B
ICTの活用に興味をもつことができている。	89%	A	自分の目標をもって、一生懸命取り組んでいる。	84%	B
自分の思いをもって学習している。	87%	A	先生は、私たちの友達関係づくりに努力してくれている。	89%	A
授業の内容がよく分かっている。	88%	A	先生は、お互いを思いやる気持ちを大切にすることを教えてくれている。	94%	A
友達の思いや考えをしっかりと聴いている。	90%	A	先生は、私たちの努力を認めたり励ましたりして、温かく接してくれる。	92%	A
自分の思いや考えを伝えている。	77%	B	先生は、私たちが学習や心や体のこと、友達関係のことで困ったことがあれば相談に乗ってくれる。	91%	A
家庭学習に自主的に取り組んでいる。	80%	B	温かい言葉遣いや思いやりのある行動をし、よい友達関係を作ることができている。	90%	A
進んで運動したり、外で遊んだりしている。	75%	B	きまりやルールを守ろうとしている。	91%	A
メディアの利用時間を決め、生活リズムを意識して生活している。	65%	C	命の大切さや人権を尊重する心が育っている。	92%	A
健康や安全に気を付けて生活している。	90%	A			

評価項目	そう思う、 だいたい そう思う	自己 評価	評価項目	そう思う、 だいたい そう思う	自己 評価
お子さんは、楽しく充実した学校生活を過ごしている。	95%	A	お子さんは、メディアの利用時間を決め、生活リズムを意識して生活している。	45%	D
お子さんは、ICTの活用に興味をもつことができている。	78%	B	お子さんは、健康や安全に気を付けて生活している。	86%	A
学校は、ブログやさくら連絡網を通して、情報発信に努めている。	93%	A	お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯・朝うんち」を心掛けている。	74%	B
学校は、家庭や地域、諸団体と連携して、教育活動を行っている。	91%	A	お子さんは、自分の目標をもって、一生懸命取り組んでいる。	69%	C
学校は、「気質小さいじめ防止基本方針」に基づいて、いじめの未然防止や早期発見に努めるとともに、いじめが発生した際には迅速かつ適切な情報共有や組織的な対応をしている。	74%	B	学校は、お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている。	85%	A
お子さんは、自分の思いをもって学習している。	72%	B	学校は、挨拶と返事ができる児童の育成に取り組んでいる。	82%	B
お子さんは、授業の内容がよく分かっている。	77%	B	学校は、子供の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。	90%	A
お子さんは、友達の思いや考えをしっかりと聴いている。	89%	A	学校は、子供が学習や心身、友人関係のことなどで困ったことがあれば、教職員に相談できる体制が整えられている。	78%	B
お子さんは、自分の思いや考えを伝えている。	80%	B	お子さんは、温かい言葉遣いや思いやりのある行動をし、よい友達関係を築いている。	88%	A
お子さんは、家庭学習に自主的に取り組んでいる。	57%	C	お子さんは、きまりやルールを守ろうとする意識が育っている。	92%	A
お子さんは、進んで運動したり、外で遊んだりしている。	68%	C	お子さんは、命の大切さや人権を尊重する心が育っている。	97%	A

教職員評価
<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師とよい関係を築きながら生活し、楽しく学校生活を過ごしている児童が多い。 ・多くの児童が落ち着いた態度で授業に臨み、授業内の理解に努めている。 ・ICTの活用に興味をもっている児童が多く、タブレットを活用して必要な情報を得たり、友達との交流で学びを深めたりしようとする姿が見られた。 ・あいさつ運動や廊下歩行など、自分たちの学校の課題に対して解決方法を全校で考え、取り組むことができた。 ・放課後の使い方やメディアの利用について、改善を望む。 ・職員は、児童が学習や心身、友人関係で悩み事があれば、相談にのり、早期解決ができるよう努めている。 ・職員は、「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止や早期発見に努め、適切な情報共有や組織的な対応を意識している。

自己評価の考察
<ul style="list-style-type: none"> ・児童は、主体的に学校行事や廊下歩行へ取り組み、友達と協力することや学校を良くするために活動したことの成就感や達成感を味わうことができた。 ・児童は、「授業の内容がよく分かる」と肯定的な回答をしているが、学力・学習状況調査では、市や県の正答率を下回っている。個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して、深い学びになるよう授業改善を行っていく必要がある。 ・日々の中での関わりや定期的に行ういじめアンケート、児童面談等を通し、児童との関係性を深め児童に寄り添った指導をすることにより、いじめ等の未然防止、早期発見、早期対応に努めた。そのため、児童と教師との信頼関係が築けている。 ・放課後の生活の仕方やメディア利用時間が全国学力・学習状況調査で市や県の平均を大きく上回ったり、児童・保護者ともに意識を高める必要があることが分かったりしたことで、家庭学習の見直しを行い、学年便り等で保護者にも協力を投げかけた。家庭学習のシステムや内容を見直したことで、自分で課題を選択し、自主的に課題解決する児童が増えた。

学校関係者評価の結果（令和7年1月31日 第4回学校運営協議会）
<ul style="list-style-type: none"> ・メディアの利用時間や生活リズムを意識した取り組みは、学校だけでなく保護者も一緒に考えられるとよい。 ・時間管理能力を身に付けさせるために、児童のタイムスケジュールを立てさせることはよいが、様々な家庭があることを考慮して作成した方がよい。 ・保護者は、学校が「いじめ防止基本方針」に則り、対応しているかが分からないと言っているが、これはそのような対応を経験していないということであろうから、今後もいじめの未然防止に努めてほしい。

次年度に向けての改善方策
<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会を利用し、保護者向け情報モラル講座を開いたり、生活リズムチェックを保護者と共に行ったりし、結果をPTA便りに載せていく。 ・引き続き、児童や保護者との良好な関係を継続し、個々の悩みや心配事に親身になって寄り添うことで、いじめの未然防止や早期発見に努めていく。